

さらに集約化は出来ませんか？ 神戸市の情報発信戦略

【河南(かわなみ)】




神戸市の情報発信サイトが林立している中、横串を刺して情報発信を集約化しようとしている取り組みは認めますが、依然サイトが乱立しており、**ユーザー側からすると、どのサイトを見るべきか、右往左往することもあります。**SNSの公式アカウントによる情報発信も含め、さらなる集約化を進めるべきと考えますが、見解をお伺いします。

【久元市長】【今西副市長】からの答弁を要約

◎イベント情報の集約など、様々な課題に対し対応を行っています。

◎未対応のWEBサイトについても、庁内調査を実施中。サイト自体の必要性を吟味し、アクセス数の少ないサイトなどは、市のホームページ内への移行や、サイト自体の廃止など、見直しを検討。

◎**SNSアカウントについては、2021年(令和3年)9月から投稿頻度やフォロワー数の状況に応じて、アカウントの廃止基準を定め、見直しを行った結果、157あったアカウント数を現在95に削減。**努力をしているところですが、まだまだ改善の余地があらうかと思っています。

イベントサイト おでかけKOBÉ	2024年(令和6年)3月、神戸市の公式イベントサイトを新規開設、イベント情報を集約。イベント検索や予約申込み。	
子育て応援サイト こどもっとKOBÉ	2012年(平成24年)公開の子育て応援サイト「ママフレ」を、2023年(令和5年)11月「こどもっとKOBÉ」にリニューアル。スマホでの見やすさにも配慮し、より便利に使いやすく。	
神戸ライフをサポート スマートこうべ	2022年(令和4年)公開の神戸市の情報サイト「スマートこうべ」を、2023年(令和5年)9月より大幅リニューアル。会員登録・ログイン不要でマイページが利用できる仕様に。	



情報が散在していると、必要な情報に素早くアクセスし難いです。利用者の利便性を念頭に作成いただきたいと思ひます。



早急に進めて欲しい ポートアイランドの活性化

【河南(かわなみ)】

2022年度(令和4年度)より、**ポートアイランド・リボーンプロジェクト(※)**が始まり、学識者等が中心となって、まちの将来ビジョンについて検討が進められています。

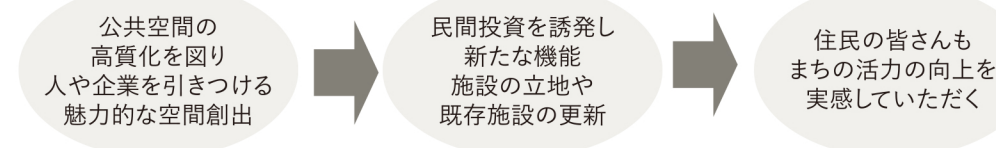
緑豊かな将来像が示され、今後の姿が楽しみである一方で、ポートアイランドには、目下取り組みなくてはならない問題もたくさんあります。

ファッションタウンの活性化、そしてポートピアプラザやパークシティなど、住宅と民間施設が共存しているまちの活性化など、まさに今直面している課題に対しても、積極的に取り組むべきと考えますが、見解をお伺いします。

【久元市長】からの答弁を要約

ポートアイランド・リボーンプロジェクトを推進

今後、**神戸空港の国際化や大阪湾岸道路西仲部の供用などにより、まち全体のポテンシャルがさらに高まると考えています。**働いておられる方、お住まいの方、立地企業など、様々な方々との意見交換や議論を通じて、望ましい将来像の在り方を描いていきたいと考えています。プロジェクト全体としては、息の長い取り組みとなることは、理解を賜りたいと存じます。



目の前の課題に対しては、スピード感を持って

◎**ファッションタウン**には地区計画が定められており、一定の用途規制の下に企業が立地しているため、権利者の皆さんのご意見を丁寧にお聞きしながら、土地利用も含めたまちの在り方についてしっかりと議論をしていくことが重要です。現在、神戸商工会議所や立地企業と相談を始めているところで、この動きを加速させていきたいと存じます。

◎2024年度(令和6年度)は、**ポートピア大通り**におきまして、沿道のテナントや緑地・緑道を一体的と捉えた道路空間を活用したにぎわい創出イベントの社会実験を計画をしております。島内の企業、大学、住民などを含めた新しい人の流れをつくり出すことができないか、民間投資を誘発する好循環を生み出すことができないか検証を行っていきたくと存じます。

ポートアイランド・リボーンプロジェクト

まちびらきから約40年が経過し、まちの成熟とともに賑わいの創出が課題となっているポートアイランドの活性化に取り組む神戸市のプロジェクトは、2022年度(令和4年度)から検討が進められています。



研究成果を市民の健康づくりに還元できませんか？ 神戸医療産業都市の取り組み

【河南(かわなみ)】

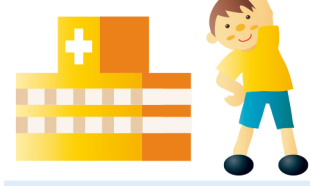
神戸医療産業都市は、医療技術の実用化や神戸経済の活性化を進めることはもちろん、これまでの取り組みや成果を市民が享受できるように、フィードバックしていくことが重要です。**神戸医療産業都市の研究成果を市民の健康づくりに対して、存分に還元すべきと考えますが、見解をお伺いします。**

【久元市長】からの答弁を要約

市民と進出企業とアカデミアとの協働によるヘルスケアサービス開発支援事業を実施中

市民向け健康セミナーの開催、ニュースレターの発行などにより、市民の健康の維持・増進などを図る取り組みを展開しているほか、約3,000人の市民にヘルスケア市民サポーターとして登録いただき、医療機器メーカーや食品メーカー、スポーツ用品メーカーなどの企業の製品、サービスの開発・改良に係るモニター調査を実施しているところ。

より一層、この医療産業都市の取り組みや成果を市民皆さんが実感できるような、享受できていると感じていただけるようなフィードバックが大事と考えています。



市民病院と先端医療研究センター、医療イノベーション推進センターの連携もこれまで以上に密接にさせていただきたいです、研究に注力するだけではなく、その研究者の成果に対してもシビアに見ていただきたいと思ひます。

また、雇用の育成と神戸での創業で、夢が叶うといった点もぜひ伸ばしていただきたいと思ひます。

健康な長寿社会の実現が神戸から実現されるよう期待!



MICE施設の再整備

【河南(かわなみ)】

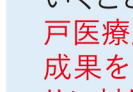
(ポートアイランド)国際展示場をはじめとして老朽化が進む**MICE(※)**施設に関して、再整備基本構想を策定してから10年以上経過しますが、進展は見られません。現在の検討状況を伺ひします。

MICE 企業等の会議、国際機関・団体、学会等が行う国際会議、展示などのビジネスイベントの総称

【今西副市長】からの答弁を要約

多額の投資を要するため、整備手法や資金調達手法、整備時期について課題を検討・整理する必要があります。現在施設に必要とされる機能、民間活力の導入などについて経済界の意見も聞きながら、課題整理や情報収集を行っているという状況です。

神戸空港の国際化を見据えると、MICE施設の再整備はさらに重要になってくると思ひます。民間資本の導入もぜひ検討いただきながら、例えば空港島の北側のエリアに整備するなど、場所についても新たな発想で検討をお願いします。



神戸空港の国際化を見据えて検討を 神戸空港行きバス発着場所

【河南(かわなみ)】

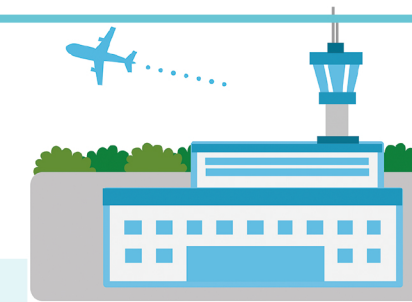
国際定期便の就航開始によって、神戸空港(以下、空港)利用の増加需要を見込みむとバスの需要が膨らむと予想されます。現在の空港と三宮を結ぶバス路線では、地下鉄三宮駅前の発着場所に多くの乗客が並ばれると、雨や風の日に大変ご不便をおかけすることになります。海外からのお客様に、道路沿いの外で乗降いただくのではなく、バス事業者に働きかけながら、空港から三ノ宮駅前に新たに出来るバスターミナルや、ミント神戸の三宮バスターミナルへダイレクトに運ぶ便を新設し、**空港を利用した来神者をもてなす利便性の高い交通手段を準備すべき**と考えますが、見解をお伺いします。

【今西副市長】からの答弁を要約

◎バス事業者からは、空港国際時のフライトスケジュールを見て、さらなる増便についても前向きに検討すると伺っているところです。

◎河南議員からの指摘のように三ノ宮駅をはじめ、市内外の主要な駅など空港を結ぶ直行バスの運行は空港国際化に向けて検討を進めているところです。

◎バス停は雨や日差しをしのげる場所に設けることが望ましいと考えて、ミント神戸と新たに出来るバスターミナルの収容能力、あるいはバス事業者の意向なども踏まえ、関係者と幅広く協議・調整を行いたいと考えています。



雨風をしのげるような、屋根のある場所を、新しいバスターミナル、あるいはミント神戸等にて、ご検討をお願いします。

免税店の充実

【河南(かわなみ)】

新ターミナルのにぎわいづくりとして、飲食店や免税店などの充実が必要です。神戸らしさのPRや市内商業の活性化の観点から、地元事業者がより多く参入できるようにしていくべきと考えますが、見解をお伺いします。

【今西副市長】からの答弁を要約

空港利用者の利便性や快適性に資するよう商業スペースを確保しようとしている

神戸らしさ香るおもてなしをコンセプトの1つとして整備を進めています。イメージとしては、神戸や周辺地域の地場産品の販売や、飲食店舗の設置、地元事業者によるにぎわいスペースを活用したイベントの開催など、神戸らしさや、四季を感じることでできる様々な取り組みを検討しています。

地元事業者ということで、関西エアポートさんが事業者を決めることだとは思いますが、ぜひ神戸市側からは、「選定には門戸を開けてほしい」ということを、働きかけていただくように要望します。

ガストロノミーツーリズムの推進

【河南(かわなみ)】

国や地方自治体を中心に瀬戸内海クルーズ推進会議が立ち上がり、瀬戸内海独自の魅力や特色を生かしたクルーズ振興が図られていると伺います。クルーズ振興によるインバウンド需要の増加を見据え、ガストロノミーツーリズム(※)を推進すべきと考えますが、見解をお伺いします。

【今西副市長】からの答弁を要約

神戸を発信する重要なツールと考えている

◎令和5年度は観光庁の地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業を活用し、漁師や料理人と共に漁船でのクルージングを楽しんだ後に、アジール舞子の砂浜で特別なディナーを味わうツアーなど、体験型コンテンツを造成。
◎令和6年度もガストロノミーツーリズム事業に申請をしている。今秋には、東遊園地で神戸の魅力的な食文化をテーマとした大規模イベントを開催予定。
◎インバウンド需要が高まることを見据え、単なる食事の提供だけではなく、食を軸とした地域の歴史的文化、自然環境等を絡めたストーリーづくりや体験プログラムの造成などを通じて、ガストロノミーツーリズムを推進していきたい。

ぜひ、地域経済の活性化や観光客の増加に繋いでいただきたい

ガストロノミーツーリズム

その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたツーリズム。

